

インフラマネジメント 支援システム（橋梁版）

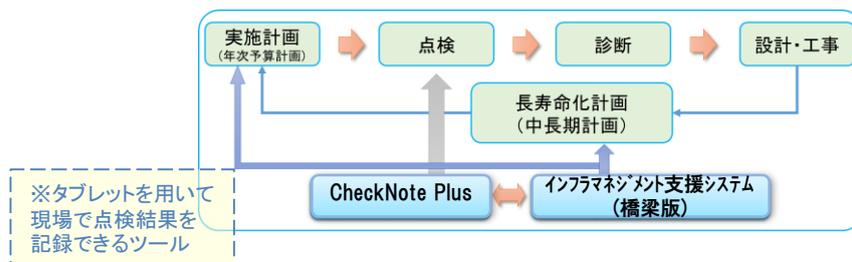
自治体の抱える橋梁維持管理における課題

自治体の橋梁維持管理では事業執行段階で下記のような課題が明らかになっています。

- ◇課題① 橋梁長寿命化計画の予算と実工事費とが乖離することが多く、長寿命化計画通りに修繕工事が実施できない。（予算超過で次年度工事、次々年度工事などに変更）
- ◇課題② 点検結果や修繕工事の予定変更がタイムリーに長寿命化計画に反映できない。
- ◇課題③ 補修設計等において、点検結果納品時から次年度の予算化までに時間がない。

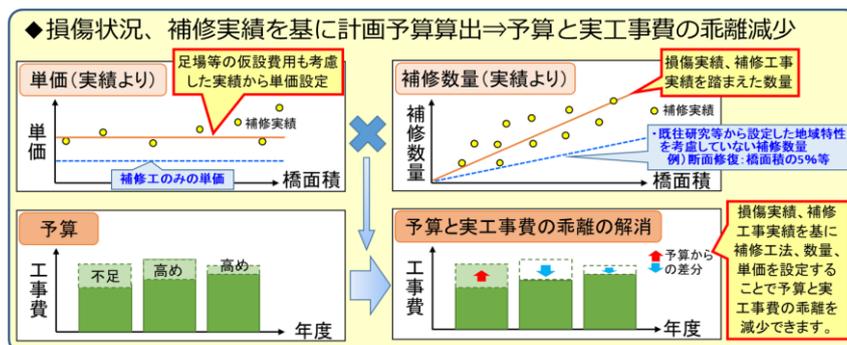
インフラマネジメント支援システム（橋梁版）による維持管理の円滑化

- ◇インフラマネジメント支援システム（橋梁版）は、長寿命化計画に基づいた「実施計画」⇒「点検」⇒「診断」⇒「設計・工事」といった橋梁維持管理業務の実践を円滑に支援します。
- ◇「CheckNote Plus※」との連携で点検作業も効率化し、橋梁維持管理を最適化します。



提案①：実績を反映した精度の高い予定価格を作成

計画策定時に補修実績を基に予算設定の精度を高め、予算と実工事費の乖離を減少させることで現実に合った長寿命化計画の策定が可能。



お問い合わせ

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
ORICON SU

本社 東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL 03-6311-7551 FAX 03-6311-8011

株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス
ORICON HD

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL 03-6311-6641 FAX 03-6311-6642

